キャンパスライフに対するアンケート結果（令和3年度）

稲吉政岳、新井奈津美、桑原真裕子、小池美津貴、
武分祥子、竹村 香、林 正樹、三浦弥生、渡邊千春

1. 目的

本学学生の学生生活に対する満足度、学生の知識・能力の変化、教育に対する満足度を調査することにより、教育内容や短期大学教職員の在り方を見直し、今後の教育活動や業務活動の改善及び充実を図る一助とする。

2. 調査方法

(1) アンケート調査

(2) 対象：本学に在籍する全学生（悉皆調査）

(3) 調査期間：令和3年12月20日～令和4年1月18日

(4) 調査内容：質問項目は、対象者の属性、サポート体制、教育施設・設備、入学後の能力や知識の変化、学生生活等の満足度、教育に対する満足度

(5) データ収集方法：オクレンジャーによるアンケート内容の送信と各自入力後の返信

(6) 分析方法：単純集計(オクレンジャー)

3. 結果

対象者数 484 人中回収数 414（回収率 85.5%）

(1) サポート体制

履修登録や単位取得について相談できる体制については、90.3%が整っていると回答した。

休校などの連絡が学生にわかりやすく情報提供されているかについては、72.7%が提供されていると回答した。Web休講サイトの利用状況については、41.3%が利用していない、43.2%が休講サイトを知らないと回答した。

からだやこころの健康について相談できる環境があるかについては、8割以上がその環境があると回答しており、その理由は、健康センターにおける相談体制の充実であった。

職員の対応に満足しているかについては、全ての部署において、満足、まあまあ満足と回答した者が93%以上であった。

(2) 教育施設・設備

講義室、実習室の教育施設に対して全般的に満足している者は90.3%であった。

自習スペースは学生に対して十分であると回答した者は70.1%であった。

駐車場については、利用者の60.1%が利用しやすいと回答した。

(3) 能力や知識の変化

入学した時点と比べた能力の変化については、一般教養で93.7%、専門知識で98.7%、知識が増えたと回答した。リーダーシップの能力の向上は71.0%、プレゼンテーションの能力向上は79.4%が増えたと回答した。

(4) 学生生活の満足度

自分の学生生活(全般)に満足しているかについては、87.2%が満足、まあまあ満足と答えた。

本学に入学して満足しているかについては、89.3%が満足、まあまあ満足と答えた。

4. 考察

(1) サポート体制

履修、健康面のサポート体制は比較的整っている。学生便覧の活用の充実が求められる。

職員の対応については、満足を得ている。

(2) 教育施設・設備

自習スペースの確保、空調、駐車場の整備を今後も心掛ける必要がある。

(3) 能力や知識の変化

専門知識、一般教養とも修得できたと感じている。

(4) 学生生活の満足度

学生生活の満足度、入学満足度は高い水準を維持している。

5. まとめ

ここで得られた結果を各部署で共有し、連携の下で検討及び改善し、学生の満足度を維持・向上させていきたい。